

(仮称) 白島沖着床式洋上風力発電事業環境影響評価方法書に対する市長意見

1 全般的事項

北九州市の白島は、福岡県の鳥獣保護区特別保護地区に指定されており、オオミズナギドリ等の希少な鳥類の繁殖地として重要な区域である。

本事業の事業実施区域は、白島に近接していることから、周辺に生息する鳥類に影響を与える可能性がある。

そのため、風力発電設備の仕様及び配置の具体化に当たっては、現地調査結果を踏まえた上で、白島周辺に生息する鳥類への影響を可能な限り低減させるよう努めること。

2 鳥類に係る環境影響調査について

本事業の事業実施区域は、オオミズナギドリ等の飛翔経路になっており、飛翔高度も風車のブレードの高さと重なる可能性がある。バードストライク発生のおそれがあるため、下記の点に留意の上、鳥類の飛翔経路及び飛翔高度の把握を含めた現地調査を確実に実施し、国内外の最新の知見などを踏まえて適切に予測評価を行うこと。

- (1) 夜間におけるオオミズナギドリの飛翔経路及び飛翔高度をきめ細やかに把握するため、レーダー調査の実施を検討すること。
- (2) 白島におけるオオミズナギドリの繁殖状況について、現在の状況を把握すること。
- (3) 白島でカンムリウミスズメが繁殖している可能性があるため、繁殖時期に白島周辺において調査を実施すること。

以上の鳥類調査を行うに当たっては、時期や手法、調査頻度等について、専門家の意見を聴きながら実施すること。

3 藻場について

藻場が存在する可能性があるため、事業実施区域内において、藻場の調査

を実施すること。調査に当たっては、可能な範囲で水深20メートルよりも深い地点でも実施すること。

4 海底ケーブルの敷設工事の影響について

海底ケーブルの敷設工事に伴う、藻場や底生生物への影響について、適切な方法で予測評価を行うこと。